

緑窓



青山学院中等部緑窓会会報
2015年(平成27年)5月1日発行
青山学院中等部緑窓会 発行人 松元 茂
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25
TEL / FAX : 03-3498-5387
E-mail : ryokusoukai@ceres.ocn.ne.jp
web site : http://www.ryokusou.net/

校友の力を結集して

中等部緑窓会会長 松元 茂(16期)



2014年度、秋には梅津新院長のもと青山学院140周年を盛大にお祝いし、新春の箱根駅伝では20回目の出場を果たした大学陸上部が記録尽くめの初優勝を飾りました。このような喜ばしい雰囲気の中、緑窓会は4月から253名の66期生を新たに会員として迎え、2015年度の活動がスタートしました。

今年度はいよいよ新校舎の建設です。1947年、共学の新制中学としてスタートした中等部の校舎は1949年に木造二階建ての旧校舎、1965年に今の校舎が建てられ50年が経過しようとしています。そろそろ建て替えの時期に来ていると言えるでしょう。とは言うものの学校経営は少子化が進む中、大変厳しい状況です。21世紀に羽ばたく中等部生のための校舎の建設にどんな貢献ができるのか、しっかりと話し合っていきたいと思います。

緑窓会としては、できるだけ多くの金額を新校舎のチャペル建設、特にパイプオルガン設置のために寄付したいと思っています。そのための一案として、チャペルコンサートなどのイベントができないかと考えています。また、中等部への指定寄付のご案内もさせていただく予定です。期幹事の皆さんを中心に、各期でいろいろな知恵を出し合って、校友一人ひとりの思いを形にして2019年新校舎完成のお手伝いをしたいと思っています。これから緑窓会の活動にご協力をよろしくお願い致します。なお、緑窓会費2年で2,000円の払い込みも引き続きお願いします。



第26回「緑窓会の日」

実行委員長 安藤 直道(26期)



中等部OB・OGの皆様、いかがお過ごしでしょうか。本年は私たち26期が緑窓会の活動ターゲットである、“原点・祝祭・継続”を継承し、未来に繋ぐお役目をいただきました。中等部時代、紳士淑女の身だしなみに目覚め、先輩が大人に見えた1年生、IVYリーグに憧れた2年生、勉強の大切さを思い知らされた3年生と、短くも濃い3年間はまさしく青学スピリットの原点です。「緑窓会の日」をこの学舎とともに過ごした全ての卒業生が、お世話になった先生及び職員の皆様と共に、中等部への感謝の集いとさせていただければ幸いです。

礼拝では、当時宗教主任の笹森建美先生に司式をお願いし、宣教師として青山学院大学宗教部長をされた鈴木有郷先生が、現在お住まいの米国から訪日し、説教をします。公演は、初等部父兄で歌舞伎役者の市川染五郎さんが長男の松本金太郎くん(初等部在校生)と「継承」と「創造」というテーマで舞踊とお話を披露します。

青山学院の卒業生、中等部卒業生が今後も活躍飛躍できる礎となるように、緑窓会が発展すべく皆様ぜひご参加ください。

また、私たち26期は緑窓会による校舎建て替え募金活動に賛同し協力していきたいと思っています。ご協力よろしくお願い致します。

第26回 「緑窓会の日」歌舞伎の精神を語り進化を舞う

日時 2015年5月30日(土) 13時30分～16時30分
場所 青学講堂
参加費 3,000円 青山学院在校生は無料

— プログラム —

礼拝 13:30～14:20 司式：笹森建美(元中等部宗教主任)
説教：鈴木有郷(元青山学院大学宗教部長)
茶話会 14:30～15:20 女子短期大学地下食堂
公演 15:30～16:30(15:00開場)「舞踊とトーク」 市川染五郎 松本金太郎

＜同期会サポートのご案内＞

今年も緑窓会では、中等部卒業後10年(57期)、20年(47期)、30年(37期)を対象に同期会をサポートします。5月30日に同期会が行えるように、アイビーホール青学会館の予約、先生への案内はがきの作成などをします。これをきっかけに緑窓会の活動に参加されることを期待します。

中等部校舎がいよいよ建て替えとなります。現校舎は1965年1月に建設が始まり、同じ年の12月に完成しました。17期から19期が在学中でした。それから50年がたちます。めぐり合わせでしょうか、そういう節目に立ち会えるのは幸いかも知れません。

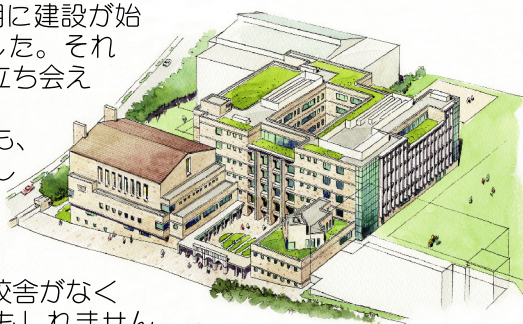
皆さんにとって12歳から15歳のころの記憶は、いくつになっても、色濃く鮮やかによみがえるのではないのでしょうか。3年間は過ぎてしまえばあつという間でしょうか、その中等部時代の一瞬一瞬に永遠が刻まれていたのかもしれない。転んだ時の擦りむいた膝の傷が肌に残るように、心の肌深く刻まれているのだと思います。

卒業生にとっては校舎も中等部時代の思い出の一部であり、その校舎がなくなるのは、自分たちの思い出まで消えてしまうような気がするかもしれません。

しかし青山キャンパスの空気は変わりません。いつも帰ってくるのできる母港・母校として中等部が存在しています。

もともと先進的な教育をしていた中等部です。新しい時代に向けた取り組みとして教科センター型の校舎となります。全教科が専門教室を持ち、生徒は教科ごとの教室に移動して授業を受けます。欧米でも取り入れられているグローバルスタンダードな教育です。念願のチャペルも完成します。わが子を、孫を入学させたいと強く思える学校であり続けたいと思います。

中等部HPに建て替えの最新情報を載せていきます。時々チェックしていただければと思います。



～緑窓会の一年～ 2014年度

6月7日(土) 第25回「緑窓会の日」報告

実行委員長 藤野 健彦(25期)

6月7日ガウチャー記念礼拝堂にて司式、野村祐之先生、説教、大村栄先生による礼拝の後、「チェロ&パイプオルガンの調べ」を開催しました。当日はあいにくの天候にもかかわらず、薦田、山本両常務理事をはじめ懐かしい先生方、先輩方など200名を超える大勢の方々にご来場いただき、30期山本祐之介さんのチェロと25期井上圭子さんのパイプオルガンの素晴らしい演奏に酔いしれました。第二部は、会場を新しい大学17号館食堂に移して茶話会を開催しましたが、昔話が尽きる事はなく、時間を忘れて楽しいひとときを過ごしました。今年は5月開催ですが、ぜひ「緑窓会の日」に青山キャンパスに足を運んで懐かしいひとときを過ごしてみたいかがですか。



公開講座のようす

9月23日(火・祝)「グリーンフェスティバル」 青山珈琲と100%フレッシュオレンジジュースを販売。公開講座は「バーチャルな社会の中、馬から学ぶアナログコミュニケーション」講師は太田恵美子さん(22期)。参加者78名。

10月11日(土)中等部運動会 3学年の優勝クラスと男子3,000m走、女子800m走の1、2、3位の選手にマフラータオルを贈呈。

11月8日(土)中等部祭「ジュビリーズ式典」 6期(ダイヤモンド)、16期(ゴールデン)41期(シルバー)の方々が表彰され、記念の盾とマフラータオルが贈呈されました。

2015年1月2日(金)3日(土)箱根駅伝応援 (京浜急行立会川駅付近)3日は沿道での応援後「吉田家」そば店でゴールまで応援。往路復路とも優勝し、初の完全優勝。

箱根駅伝を応援すること

向笠 晴久(16期)

小涌園のホテルに泊まり、母校の応援をしたのは6年前のことでした。33年ぶりの出走。「多分これが最初で最後の応援だろう。」という気持ちでした。ようやくフレッシュグリーンの襷が見えたのは、多くの大学が通り過ぎた後、結果は22位でシード権獲得すら遠い夢でした。それでも母校が出るからには、正月2日は1区立会川で応援して、すぐに電車で飛び乗り、5区箱根でも応援することを毎年続けてきました。

今年はどうだ。小涌園から30分も上った沿道で、最初に目に飛び込んできたのはフレッシュグリーン。これ以上は出ない大声で「カミノー、ダイチー、がんばれー！」連呼できたのは3回だけ。それ程凄いスピードで力強く目の前を通り過ぎ、視野から消えて行ったのです。奥歯を噛みしめているのに明るい表情、しっかりしたストライドと腕の振り、見る人を気持ちよくさせる走りでした。「まさか優勝？」と感じた時、今まで経験したことのない高揚感を覚えました。内臓が気持ちよくなり胃袋が数センチ浮く感じ。頬がゆるみ笑いが込み上げました。この喜びを誰に伝えようか…。

昨年逝った同期の河内喜一郎君は、42年前に駅伝を走った男でした。彼は演劇を目指し、苦労の末に座長になりました。生きていたらどんなに喜んだか。涙で笑う彼の顔が目の前に浮かびます。来年の応援も、緑窓会の仲間と立会川で、そして小涌園で。



早朝から幟の準備

今回は、検事という堅いイメージの職業でありながら、明るくて、しなやかな印象の小西(マキロイ)七重さん(44期)にお話を伺いました。現在は二人のお子さんのお母様としても奮闘中です。【インタビュー 濱中浩子(20期) 大石由美子(22期)】

…青山学院には中等部から入学なさったのですね。

はい。父親の仕事がアメリカになるかもしれないなかったので、小学校は公立に通っていました。その後日本で暮らすことが決まり、弟たちが先に青学に入学して、とても楽しそうだったので、私もぜひ青学に入りたいと思って中等部を受験しました。

…中等部の生活はいかがでしたか？

想像通り楽しかったです。陸上部で部長をし運動会ではチアリーダーもしました。

…高等部に進学され、その後ストレートで東大文科I類に入学されましたが、進路を決められたのはいつですか？

高1のときです。父親が弁護士をしていて、身近な職業だったうえ、幼稚園や小学校のときにハーフという理由でいじめにあうこともあったので、弱い人を助ける弁護士になりたいと思いました。

…大学卒業後に弁護士ではなく検事になったのは、なぜですか？

就職先の弁護士事務所まで決めていたのですが、司法試験合格後の研修のとき検事に向いていると言われました。刑事は嫌いな分野ではなかったので検事になることも選択肢の一つとして、検察庁でのインターンに臨みました。そこでよくある万引き事件を担当したのですが、被疑者が何か隠し事をしているように感じました。何回も呼んで話を聞くうちに親しくなり、ある日、もっと大きな盗みをしたという話を聞き出したのです。その時は「やった」と思いましたが、次の瞬間、「私を信じて話してくれた人を刑務所に送ることになってしまった」と落ち込んでしまいました。教官に「私には検事は無理です。こんな辛い仕事はできません」と正直に話したところ、「そういう考えを持つ人にこそ検事になってもらいたい」と言われました。その言葉にぐっときて、検事になる方向に心が動きました。

…今はどんなお仕事ですか？

法務総合研究所というところで研修、犯罪白書作成、国際協力などに関する総合調整のようなことをしています。子どもを産むまでは現場が多く、直前はさいたま地検の暴力係を担当していました。

…子育てと検事のお仕事との両立は大変ですね。

以前と比べると、女性もだいぶ働きやすくなったと思います。法務省の中にも『女性活躍及びワークライフバランス推進検討会議』というのが立ち上がったばかりです。

…ご自身のいろいろな経験がお仕事にも役立っていると思われませんか？

私にとって青学に通っていたことが今の仕事に活かされていると思います。青学には、いろいろな分野で活躍している人がいて価値観もさまざまです。それが検事になってから多くの人のお話を聞くときに役立っています。青学は勉強ができることが一番正しいとか、いいことだという学校ではないですね。人気者になるのは、スポーツのできる人だったり、面白い人だったり。こういう人もいれば、ああいう人もいるというオープンマインドを持たせてもらいました。我々の仕事は独善的になりかねないのですが、あまり自分の考えを押し付けずに考えることができているように思います。得難い経験をさせてもらい、青学出身というのは誇らしいですね。

…これからの夢は？

女性が子育てしながら仕事でも輝ける道を作っていきたいです。今、その波が来ていると思います。



青学出身は誇らしいです

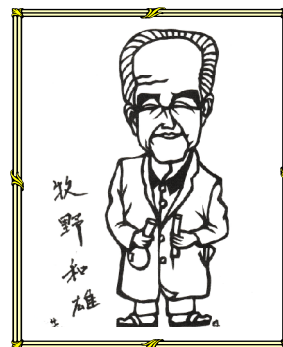
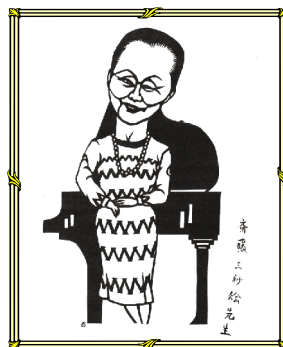
小西(マキロイ)七重さん
プロフィール

1990年青山学院中等部入学。(中等部44期、高等部44期)

1996年東京大学文科I類入学。2002年東京大学法学部卒業、同年司法試験合格。2004年検事任官(東京地方検察庁)。福岡地方検察庁、法務省刑事局など勤務を経て、2007年アメリカNY州コロンビア大学法科大学院に国費留学。翌年NY州法曹資格も取得。2009年に帰国後、名古屋地方検察庁、さいたま地方検察庁などで勤務。2012年産休。2014年法務省法務総合研究所に復帰。現在二度目の産休中。

千輝克忠先生製作の切り絵

1967年から2010年まで、中等部の「体育の顔」として教鞭をとられた千輝先生。今号は先生の特技の切り絵を紹介します。中等部の先生方をモデルにした切り絵は、見ていると思わず微笑んでしまいます。「緑窓」には数回にわたって掲載する予定で、中等部祭の「緑窓会の部屋」にも展示します。どうぞお楽しみに。



2015年度人事

部長	敷島 洋一	[退職]	小田井 孝 (教諭・理科)
教頭	浦田 浩		1985年4月～2015年3月
宗教主任	西田 恵一郎		高口 恒美 (教諭・英語)
教務委員長	渡邊 ちおり		1982年4月～2015年3月
指導委員長	林 謙二		松延 志摩子 (教諭・英語)
将来構想委員長	筒井 祥之		1986年4月～2015年3月
1年学年主任	朝野 圭三	[新任]	池田 桃子 (英語科)
2年学年主任	津村 裕子		関 妃 (英語科)
3年学年主任	上野 亮		



中等部門付近の桜

2014年度収支計算書

自 2014年4月1日 至 2015年3月31日
金額：円

支出の部		金額
科目		
会報発送費		1,376,098
会報制作費		879,012
事業費	「緑窓会の日」	1,013,638
	同窓祭	162,010
	中等部Jubilees	235,685
	同期会サポート	93,200
渉外費		40,875
会議費		177,718
交通費		321,520
通信費		196,107
水道光熱費		13,000
慶弔費		0
事務用品費		126,012
寄付金		144,328
駅伝寄付		300,000
中等部指定寄付		200,000
支払手数料		736
HP制作・管理費		108,000
支出合計		5,387,939

収入の部		金額
科目		
入会金(卒業生)		759,000
維持会費		5,396,110
「緑窓会の日」会費		726,000
同窓祭事業収入		184,690
寄付収入		60,000
駅伝寄付収入		162,540
預金利息		1,363
収入合計		7,289,703

前年度繰越金	9,091,966
当年度収入合計	7,289,703
当年度支出合計	5,387,939
当年度収支差額	1,901,764
次年度繰越金	10,993,730

会長 松元 茂/副会長 富士野ゆかり
 会計 小平昌邦、西本由里子/監事 今村和久、崎田克巳
 <<定例役員会の報告>>
 2014年5月24日に第1回、2014年12月6日に第2回定例役員会が開催されました。詳細は、緑窓会室までお問い合わせください。

2015年度 緑窓会行事予定

- 5月30日(土) 第26回「緑窓会の日」、同期会サポート
- 9月23日(水・祝) グリーンフェスティバルに参加
- 10月10日(土) 運動会で緑窓会賞(マフラー・タオル)を贈呈
- 11月7日(土) 中等部祭 ジュビリーズ式典
「緑窓会の部屋」
- 8日(日) 中等部祭「緑窓会の部屋」
- 1月2日(土) 箱根駅伝応援 往路(京急立会川駅付近)
- 3日(日) 箱根駅伝応援 復路(同上)

同期会をしました…

- ◇46期同期会 6月7日 記事 鈴木順子
 - ◇53期3Cクラス会 6月22日 記事 中野梨紗
 - ◇1期同期会 10月10日 記事 余語悦子
 - ◇17期3Eクラス会 10月26日 記事 松山勝美
- 写真、記事の詳細は、緑窓会ホームページをご覧ください。

緑窓会期幹事になって

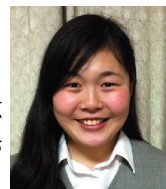
野田 陸斗(66期)

僕は、中等部の3年間、たくさんの友人ができて、かけがえのない思い出をたくさん作ることができました。10年後、20年後と、この楽しかった中等部時代を語ることができるよう、努めていきたいと思っています。よろしくお祈りします。



松田 ちひろ(66期)

この度、66期の幹事を仰せつかりました、松田ちひろです。大好きな中等部のお役にたてることは、本当にうれしいです。精一杯務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。



Help! ボランティア募集

緑窓会の行事は年々活発になっています。「毎週火曜日」「午後だけなら」「毎週は無理だけど月1回なら」「行事当日だけなら」など、どのような方法でも結構です。PCが得意な方、編集に興味のある方、何か手伝ってくださるお気持ちのある方、緑窓会室までご連絡をお待ちしています。

